

# 吉井勇 について

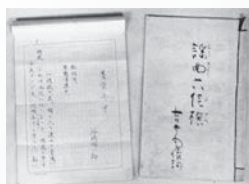


自宅前の銀閣寺疎水にて  
吉井勇氏

- 明治19年(1886) 旧薩摩藩士の家に生まれる。祖父の吉井友実は、西郷隆盛や大久保利通らと国事に奔走した人物として知られている。
- 明治38年(1905) 新詩社の同人となって雑誌『明星』にロマンチズムをうたいあげた短歌を発表。
- 明治41年(1908) 気鋭の若手芸術家と交流を図ろうと、北原白秋、木下杢太郎、石井柏亭らと享楽主義的文芸の拠点となる「パンの会」を結成。
- 明治42年(1909) 森鷗外を中心とする『スバル』創刊に際して、石川啄木らと編集にあたる。
- 明治43年(1910) 初の歌集『酒ほかひ』刊行。
- 大正4年(1915) 『祇園歌集』刊行。
- 昭和13年(1938) 孝子夫人の勧めにより高知県から京都市(北白川)へ転居。
- 昭和20年(1945) 疎開先の富山県から戻ると宝青庵(八幡市)へ居を移す。
- 昭和25年(1950) 都をどりの作詞を担当し、最晩年まで手がけ続けた。
- 昭和32年(1957) 歌会始の選者となる。芸術院会員。
- 昭和35年(1960) 肺がんのため死去。



建立式典 舞妓から祝福を受ける吉井勇氏



大戦後、昭和28年4月都をどりの再開  
その舞台を彩る吉井勇氏と谷崎潤一郎氏  
による「謡曲六佳撰」台本原稿



## 帝国ホテル 京都

京都市東山区祇園町南側570-289  
TEL: (075) 531-0111

## 京都祇園 茅乃舎

京都祇園 茅乃舎  
〒605-0074 京都府京都市東山区祇園町南側 570 番地 ☎075-335-9536



マールブランシュ ショコラトリー 京都市東山区祇園町南側570番地150 Tel.075-551-6060



京阪「祇園四条」駅より徒歩約8分

京都市東山区大和大路白川東入ル



祇園新地甲部組合

お問い合わせ | TEL.075-561-1115  
(平日10時~17時)



祇園甲部公式WEB



| 主催 | 祇園新地甲部組合  
| 協力 | 祇園新橋景観づくり協議会 / 元吉町町内会

# かにかくに祭について

明治・大正・昭和にわたり文芸界で活躍した吉井勇の顕彰を目的として歌碑建立以降、毎年行われ、当初は吉井本人も参加し、「ぼくはこの日が一番うれしいのだよ。生きているうちから、おまつりをしてもらうのだからね」と語ったと伝えられています。祇園甲部の芸妓・舞妓による抹茶とお蕎麦の接待が行われ、和やかな雰囲気の中で開催されていました。



かにかくに祭、以前の茶席の床を飾っていた「紅葉白河」軸 磯田又一郎画・新村出博士賛



文芸女将として多くの文人画家たちに信頼されたお茶屋「大友(だいとも)」の磯田多佳女

お茶席では、磯田多佳の子息である磯田又一郎による「紅葉白河」の軸が掛けられ、新村出による賛「かにかくに京都はたのし吉井あり 山むらさきに白川もあり」も寄せられています。

昭和35年(1960)11月19日京都で吉井が没したのちは、ゆかりの人々が故人を偲びながら、白菊を供え、その功績を語り継いできました。

# 歌碑について

歌碑は、堂本印象の構想により東山になぞらえた鞍馬石が選ばれ、昭和30年(1955)11月8日吉井勇の古希を祝して建立されました。建立にあたっては、当時の芸術院院長、京都市長、祇園甲部関係者をはじめ、志賀直哉、谷崎潤一郎、久保田万太郎、大佛次郎、里見弴、西山翠嶂、和田三造、堂本印象、新村出、湯川秀樹、大谷竹次郎、小林一三、井上八千代といった各界の文化人が発起人となり、朝日新聞社、毎日新聞社、京都新聞社、都新聞社、夕刊京都新聞社の各新聞社が協賛しました。

歌碑の建つ場所には、かつてお茶屋「大友(だいとも)」が所在し、女将の磯田多佳は文芸に秀で、歌碑の発起人をはじめ夏目漱石や高浜虚子、長田幹彦といった人々とも交流がありました。昭和20年(1945)3月戦時下の建物疎開により、白川北側の茶屋が取り壊され、「大友」もその憂き目にあいました。

同年5月、磯田多佳が終戦を前に逝去。谷崎潤一郎は「多佳女が亡くなつたばかりでなく、あの吉井勇の歌で名高い新橋の大友の家、——何十年来多佳女が住み馴れた、あの白川の水に臨んだ家までが、建物疎開のためにあとかたもなく毀ち去られた事実を知つた」と在りし日の祇園の面影と磯田多佳への別れの思いを記しています。

「かにかくに…」の歌は、明治43年(1910)に刊行された吉井勇の歌集第一作『酒ほがひ』の「祇園冊子」に収められており、かつて親しんだ祇園へのまなざしを今に伝えています。



献花される京舞井上流家元四世井上八千代(愛子)師

# お茶席について

これまでの「かにかくに祭」は吉井勇氏に所縁のある方々や、関係者に限ってのご案内とさせていただきます。

しかしながら吉井勇氏の没後60年余りが経ち、ややもすれば人々の記憶も薄れる中、昨年より設けましたお茶席には、一般の皆さまにも多くお運びいただき、「かにかくに祭」を身近に感じていただく機会となりました。本年も引き続き開催し、皆さまとともに秋の風物詩として育んでまいりたいと考えております。ぜひ秋の一日、祇園白川へお運びくださいませ。

## かにかくに祭 お茶席のご案内

令和8年11月8日(日) 11時より15時30分(雨天開催)

料金 お一人様 3,000円

お菓子をお召し上がり  
いただいた団子皿は記念に  
お持ち帰りいただけます

定員 各回32名様

◆1グループ様、1枚芸妓舞妓と写真撮影ができます。◆

## お茶席開始時刻

①11時～ ②11時30分～ ③12時～ ④12時30分～  
⑤13時～ ⑥13時30分～ ⑦14時～ ⑧14時30分～  
⑨15時～

お茶席をご希望の方は上記よりご希望の時間を選んでいただき「お茶席券」をご購入ください。  
お茶席券は祇園新地甲部組合にて事前に販売しております。  
また空席状況によっては当日券も販売いたします。

お茶席券の購入、ご予約、  
お問い合わせは  
祇園新地甲部組合(担当・山本)まで  
TEL.075-561-1115  
(平日10時～17時)

※お茶席券購入後の時間変更、  
払い戻しは致しかねます。ご了承ください。



※写真はイメージです

協賛 抹茶／柳 楊 園 生菓子／鍵善良房  
運営協力 しぐれ茶屋佐助／実業広告社

京ごふく  
翁おか善

京・御池通寺町西入 電 075(211)5222  
www.okazen.jp

〒605-0074  
京都市東山区祇園町南側570-122  
電話 075-561-2420  
www.gion-kawakami.co.jp

祇園  
川  
上

創業 享保三年(1718年)  
白竹堂

【本店】京都市中京区麩屋町通六角上ル  
【綾扇店】京都市東山区祇園町南側

